

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社ニフコ（証券コード:7988）

【見直し変更】

長期発行体格付 **A**
格付の見直し **安定的 → ポジティブ**

【据置】

債券格付 **A**

■格付事由

- 自動車用プラスチック製ファスナーの国内最大手。製品開発や提案営業を強みとし、主要顧客とする日系自動車メーカーにおける納入シェアは約 70%と高い。近年は非日系自動車メーカーとの取引も増加傾向にある。採算の厳しかった株式会社ジャパントイムズを 17 年 6 月に売却しており、主力の合成樹脂成形品事業以外では高級ベッド「シモンズ」を中心としたベッド及び家具事業を手掛けている。
- 営業利益が過去最高益の更新を続けており、収益力は向上している。自動車の内装充実化が進む中、提案営業の取り組みが奏功し、車 1 台当たりの製品搭載金額を増加させている。自動車メーカーが次世代自動車の開発に注力し、開発の効率化や迅速化を進める中、当社では提案営業力やグローバル展開力などを背景に中長期的に収益機会が広がる公算が大きい。顧客層の拡充も相まって、今後も主力の合成樹脂成形品事業が業績拡大を牽引していくと考えられる。財務面では有利子負債の削減が進んでおり、今後も財務諸指標の改善が続く可能性が高い。以上より格付を据え置き、見直しをポジティブとした。
- 19/3 期は合成樹脂成形品事業、ベッド及び家具事業が堅調に推移し、営業利益 313 億円（前期比 1.3% 増）と 6 期連続で過去最高益を更新する見直しである。主力の合成樹脂成形品事業は日系や欧州系自動車メーカー向けに販売を伸ばしているうえ、複数の車種で製品搭載額が増加するとみられる。一方、北米の一部工場で人手不足問題を背景に生産性が低下しており、今後の改善状況をフォローしていく。
- 設備投資の拡大や複数の M&A 実施などで悪化していた財務構成は改善に向かっている。ネット有利子負債は 16/3 期末 290 億円をピークに減少に転じており、18/3 期末 52 億円となった。自己資本比率については資産効率化の取り組みにより 18/3 期末 55.4%（16/3 期末 43.5%）と良化した。今後も生産能力の増強を中心に高水準の設備投資計画であるが、安定したキャッシュフロー創出力を背景に、財務構成は改善していくと想定される。

（担当）上村 暁生・小野 正志

■格付対象

発行体：株式会社ニフコ

【見直し変更】

対象	格付	見直し
長期発行体格付	A	ポジティブ

【据置】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 3 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2012 年 10 月 23 日	2019 年 10 月 23 日	0.700%	A
第 4 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2018 年 5 月 8 日	2025 年 5 月 8 日	0.250%	A
第 5 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2018 年 5 月 8 日	2028 年 5 月 8 日	0.385%	A

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年11月1日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：上村 暁生
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「自動車・自動車部品」(2012年3月26日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社ニフコ
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル